

## 事例 お茶の栽培管理

### ■ LPWA サービス導入の背景

#### □LPWA 導入の背景

お茶の栽培における安定した品質・収量確保のため、土壌の地温等の計測・管理が必要である。しかし土壌の地温は、日当たり等の影響もあり、時間・場所によって変わることから、本来は、様々な時間・場所での計測が望ましい。しかしながら、手作業での計測では限られてしまう。

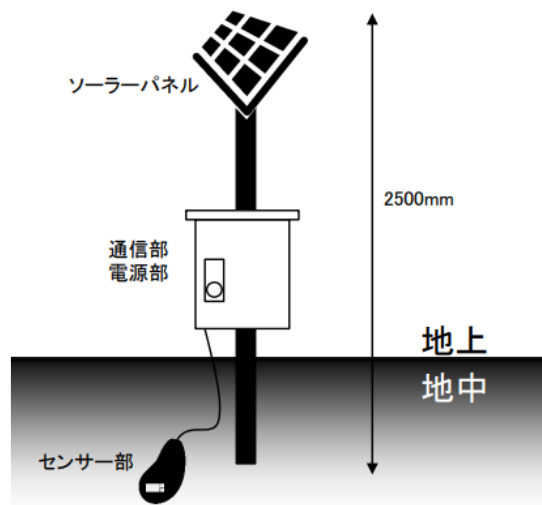
#### □LPWA 導入の目的

土壌の地温、水分量、PH等のデータを取得し、様々な場所で、リアルタイムで計測する。また、リアルタイムで計測することで、異常時のみの対応が可能となり作業効率化を図る。

### ■ 実証実験の取組内容について

#### □取組概要

土壌環境指数（地中温度・土壌水分含有量・EC・pH）を遠隔で確認し、定量的な指数を元に営農に役立てる。また、ソーラーパネルを搭載し、電力供給が困難な場所でもモニタリングを可能とした。

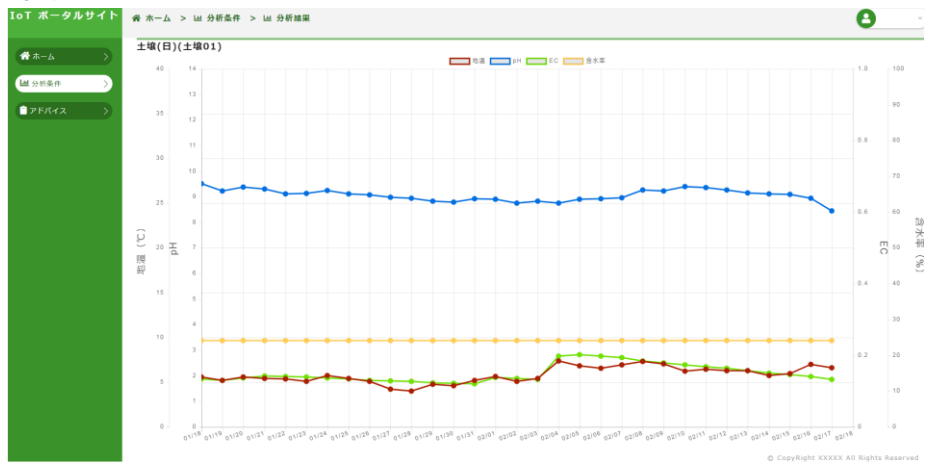


#### □導入した機器



<土壌センサー>

## □ サービス利用イメージ



<地温・含水率 管理画面>

## □ 取得データの概要

項目：地温、水分量、PH、EC

取得タイミング：10 分間隔

### ■ 導入効果

- 土壌環境指数の定量的な把握。
- 巡回等に要する人的工数の削減。機器の導入・運用コストの削減。

### ■ サービス提供事業者

TBBS (株)